

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 21 年 2 月 5 日 (2009.2.5)

【公開番号】特開 2007-166553 (P2007-166553A)

【公開日】平成 19 年 6 月 28 日 (2007.6.28)

【年通号数】公開・登録公報 2007-024

【出願番号】特願 2005-364046 (P2005-364046)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/765 (2006.01)

H 0 4 N 7/26 (2006.01)

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

H 0 4 N 5/76 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/91 L

H 0 4 N 7/13 Z

H 0 4 N 5/225 F

H 0 4 N 5/76 B

【手続補正書】

【提出日】平成 20 年 12 月 11 日 (2008.12.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

映像データ及び音声データを多重化して記録するためのデータ領域と、前記映像データ及び音声データの付随情報を含む再生情報を記録するためのデータ領域とで構成される動画像ファイル形式で動画像ファイルを生成する動画像ファイル生成手段と、

前記動画像ファイル生成手段により生成された動画像ファイルの中の代表画像をサムネイルデータとして記録したサムネイルファイルを生成するサムネイルファイル生成手段と

、  
前記動画像ファイル生成手段によって生成された動画像ファイルと前記サムネイルファイル生成手段によって生成されたサムネイルファイルとを関連付けた後、別々のファイルとして記録する記録手段とを有し、

前記記録手段は、前記サムネイルファイル生成手段によって生成されたサムネイルファイルの中に、当該サムネイルファイルに関連する動画像ファイルに係る前記再生情報を埋め込んで記録することを特徴とする動画像処理装置。

【請求項 2】

前記サムネイルファイルの中に記録されている再生情報を参照して前記動画像ファイルを再生する再生手段を有することを特徴とする請求項 1 に記載の動画像処理装置。

【請求項 3】

前記サムネイルファイルは E x i f 形式に従ったファイル形式であり、前記記録手段は、前記 E x i f 形式のヘッダの独自情報記録領域に前記再生情報を埋め込むことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の動画像処理装置。

【請求項 4】

前記記録手段は、前記サムネイルファイルの中に記録される再生情報のデータサイズが小さくなるように、前記関連する動画像ファイルの中に記録される再生情報から一部の情

報を削除して得られた再生情報を前記サムネイルファイルの中に記録することを特徴とする請求項 1 に記載の動画像処理装置。

【請求項 5】

前記再生手段は、前記サムネイルファイルをも再生し、前記サムネイルファイルを再生するときに、再生されるサムネイルファイル中の前記再生情報の有無を示す情報をワークメモリに保持することを特徴とする請求項 2 に記載の動画像処理装置。

【請求項 6】

前記再生手段は、前記サムネイルファイルの中の再生情報を参照して、前記動画像ファイルの再生を開始するとともに、前記動画像ファイルの再生と並行して前記動画像ファイルの中に記録されている再生情報を読み込み、前記動画像ファイルの中の再生情報の読み込みが終了すると、前記サムネイルファイルの中の再生情報を参照する処理から前記動画像ファイルの中の再生情報を参照する処理に切り替えて前記動画像ファイルの再生を継続することを特徴とする請求項 2 に記載の動画像処理装置。

【請求項 7】

映像データ及び音声データを多重化して記録するためのデータ領域と、前記映像データ及び音声データの付随情報を含む再生情報を記録するためのデータ領域とで構成される動画像ファイル形式で動画像ファイルを生成する動画像ファイル生成工程と、

前記動画像ファイル生成工程において生成された動画像ファイルの中の代表画像をサムネイルデータとして記録したサムネイルファイルを生成するサムネイルファイル生成工程と、

前記動画像ファイル生成工程において生成された動画像ファイルと前記サムネイルファイル生成工程において生成されたサムネイルファイルとを関連付けた後、別々のファイルとして記録する記録工程とを有し、

前記記録工程においては、前記サムネイルファイル生成工程において生成されたサムネイルファイルの中に、当該サムネイルファイルに関連する動画像ファイルに係る前記再生情報を埋め込んで記録することを特徴とする動画像処理方法。

【請求項 8】

映像データ及び音声データを多重化して記録するためのデータ領域と、前記映像データ及び音声データの付随情報を含む再生情報を記録するためのデータ領域とで構成される動画像ファイル形式で動画像ファイルを生成する動画像ファイル生成工程と、

前記動画像ファイル生成工程において生成された動画像ファイルの中の代表画像をサムネイルデータとして記録したサムネイルファイルを生成するサムネイルファイル生成工程と、

前記動画像ファイル生成工程において生成された動画像ファイルと前記サムネイルファイル生成工程において生成されたサムネイルファイルとを関連付けた後、別々のファイルとして記録する記録工程とをコンピュータに実行させ、

前記記録工程においては、前記サムネイルファイル生成工程において生成されたサムネイルファイルの中に、当該サムネイルファイルに関連する動画像ファイルに係る前記再生情報を埋め込んで記録するようにコンピュータに実行させることを特徴とするコンピュータプログラム。

【請求項 9】

請求項 8 に記載のコンピュータプログラムを記録したことを特徴とするコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

本発明の動画像処理装置は、映像データ及び音声データを多重化して記録するためのデ

ータ領域と、前記映像データ及び音声データの付随情報を含む再生情報を記録するためのデータ領域とで構成される動画像ファイル形式で動画像ファイルを生成する動画像ファイル生成手段と、前記動画像ファイル生成手段により生成された動画像ファイルの中の代表画像をサムネイルデータとして記録したサムネイルファイルを生成するサムネイルファイル生成手段と、前記動画像ファイル生成手段によって生成された動画像ファイルと前記サムネイルファイル生成手段によって生成されたサムネイルファイルとを関連付けた後、別々のファイルとして記録する記録手段とを有し、前記記録手段は、前記サムネイルファイル生成手段によって生成されたサムネイルファイルの中に、当該サムネイルファイルに関連する動画像ファイルに係る前記再生情報を埋め込んで記録することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 1】

本発明の動画像処理方法は、映像データ及び音声データを多重化して記録するためのデータ領域と、前記映像データ及び音声データの付随情報を含む再生情報を記録するためのデータ領域とで構成される動画像ファイル形式で動画像ファイルを生成する動画像ファイル生成工程と、前記動画像ファイル生成工程において生成された動画像ファイルの中の代表画像をサムネイルデータとして記録したサムネイルファイルを生成するサムネイルファイル生成工程と、前記動画像ファイル生成工程において生成された動画像ファイルと前記サムネイルファイル生成工程において生成されたサムネイルファイルとを関連付けた後、別々のファイルとして記録する記録工程とを有し、前記記録工程においては、前記サムネイルファイル生成工程において生成されたサムネイルファイルの中に、当該サムネイルファイルに関連する動画像ファイルに係る前記再生情報を埋め込んで記録することを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 2】

本発明のコンピュータプログラムは、映像データ及び音声データを多重化して記録するためのデータ領域と、前記映像データ及び音声データの付随情報を含む再生情報を記録するためのデータ領域とで構成される動画像ファイル形式で動画像ファイルを生成する動画像ファイル生成工程と、前記動画像ファイル生成工程において生成された動画像ファイルの中の代表画像をサムネイルデータとして記録したサムネイルファイルを生成するサムネイルファイル生成工程と、前記動画像ファイル生成工程において生成された動画像ファイルと前記サムネイルファイル生成工程において生成されたサムネイルファイルとを関連付けた後、別々のファイルとして記録する記録工程とをコンピュータに実行させ、前記記録工程においては、前記サムネイルファイル生成工程において生成されたサムネイルファイルの中に、当該サムネイルファイルに関連する動画像ファイルに係る前記再生情報を埋め込んで記録するようにコンピュータに実行させることを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 4】

本発明によれば、動画像ファイルをダウンロードして再生するような場合に、事前にダ

ウンロードするデータ量の小さなサムネイルファイルを取得した時点で再生情報を取得することが可能となり、その後に動画像ファイルをダウンロードしたら直ちに動画像の再生を行なうことが可能となる。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0026

【補正方法】削除

【補正の内容】